

踏み跡 <My Mountains>

房総	奥畑から高宕山	No.251
----	---------	--------

房総の山歩きもだいぶ進んできた。半島の南部に位置する海拔 315m の高宕山（たかごやま）は野生の猿が生息する山だと言う。地図で見ると、明瞭な稜線の連なりは（房総の山にしては）かなり山っぽい感じがするし、実際に他の山から眺めても意外な大きさを感じる山である。

平成6年11月18日

9時35分に自宅を出発。天気は晴れ、きのこ採りで足しげく通った道を上総牛久へ、そして国道410号線を南下して久留里を抜け、豊英（とよふさ）湖の先の奥畑（おくはた）に12時35分に到着。途中で道を間違えて1時間ほどのロスがありはしたが・・・。

駐車場に車を止めて登山衣装に模様替え。11月ながら暑そうなので半袖Tシャツで出発、12時45分。歩き始めは「高宕山自然歩道」と名が付いた歩きやすい道をゆっくり。しばらくは赤松が多い林で、見るからにきのこが取れそうな景観が続く。きのこの下見をしながらの歩きで気が散ってしまう。

八良塚（はちろうづか）の稜線に上がると樹間から猿の声が聞こえるようになってきた。高宕山へ来たぞという感じがする。

主稜線に出て北北西に向かう尾根を進むと程なく高宕山。13時57分着、ほぼガイドブックどおりの所要時間で到着。三角点は315.1m、やや北側にあるピークは海拔330m。国土地理院の地形図では330mのピークに高宕山と書いてあり、やや複雑な頂上である。

山頂に切り立った岩峰があるので見晴らしがよい。東京湾や三浦半島は見えるが、やや霞がかかってしまって富士山は見えない。

眺望をおかずにして昼食と大休止。愛宕山・伊予ヶ岳・富山・鹿野山など歩いたり覚えたりした山々がよく見えて楽しい休憩になる。

14時25分出発、北西に伸びる尾根を進んで石射太郎経由で下山することに決定。

石射太郎山15時14分。岩峰の前に（避難小屋に使えるような）作業小屋が一棟建っている。

「大滝ルートは土砂崩れのため通行止め」と表示してあったが、思い切って突っ込んでみることにした。土砂崩れ箇所は一か所だけで、踏み跡をなぞってうまくトラバースしてクリア。

途中で18cmはあろうかと思う立派なコガネタケを収穫。

怒田沢へ出て三島神社に16時頃到着。国道へ出て奥畑の車デポ地点まで約一時間の行程を歩いていたら、衣類の行商をしている人の車が止まって乗せてくれた。トンネルを抜けて鴨川へ行くと言う。

奥畑着は16時40分。おかげで暗くなる前に帰着できた。

汗でぬれた服を着替えてコーヒーを一杯飲み17時出発。自宅着は19時20分だった。

房総の山は帰り道の所要時間が短くていい。



←コガネタケ

以上

